

文化の秋を楽しもう！ 第48回五城目町産業文化祭

11月10日、朝市ふれあい館と五城館で、町産業文化祭を開催しました。朝市ふれあい館では、「木育ひろば」や健康コーナー、消防コーナーなどが設置されたほか、来場者へ「だまこもち」が提供されました。

また、同日開催された朝市plus+では、五城目高等学校の生徒によるミニライブが披露されました。

第41回五城目町芸文協芸能発表会が行われた五城館では、芸術作品展示会や「お茶のつどい」が実施されたほか、町芸術文化協会の加盟団体によるステージ発表が行われるなど、会場は大いに盛り上がりました。



「木育ひろば」には木のおもちゃがいっぱい！



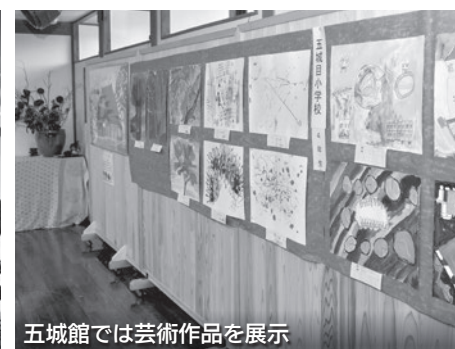
五城目高等学校の生徒によるミニライブの様子



だまこもちを提供した、
町米消費拡大地域活動推進委員会の皆さん



五城目民謡森鈴会によるステージ発表の様子



五城館では芸術作品を展示

町のいまとこれからを考える 「ワークショップ」を開催しました

町では、「五城目町こども計画」の策定を行っています。11月4日に開催したこどものワークショップには、小学5年生から高校3年生までの児童生徒10名が参加し、3つのテーマごとに分かれて意見を出し合いました。

【遊び・こどもの暮らし】

- ・のんびりできる施設がほしい
- ・公園の遊具を減らさないでほしい
- ・大きな遊具がほしい など

【学校生活】

- ・学校のイベントの規模を大きくしてほしい（コロナ前のような）
- ・学校にキッチンカーを呼び、地域の方々と交流できる場がほしい
- ・日中のバスの運行時間を増やしてほしい など

【まちづくり】

- ・こども食堂や長期休業中の給食提供、学校より早く開園する学童施設の整備
- ・若者がSNSに上げたい話題や町をモチーフにしたぬいぐるみ等の制作
- ・町のお店をもっとPRしたい
- ・高校生がゆっくりできる場所がほしい など

また、11月10日は、子育て世代のワークショップに高校生までのお子さんがある保護者10名が参加し、



こどものワークショップ参加者の皆さん



こどものワークショップ



子育て世代のワークショップ

「学校生活」「こどもの居場所」「生活インフラ」の3つのテーマに分かれて意見を出し合いました。

町では、今回のワークショップの意見をふまえ、子ども・子育て会議の中で計画の素案を検討していきます。

町功労者表彰式を開催

11月5日、町役場正庁で「令和6年度五城目町功労者表彰式」を行いました。

式では、町功労者に選出された北嶋悦子さん（川原町）や、スポーツで全国的な水準の成績を残した方など9名の方を表彰しました。また、式では最優秀農業賞の授賞式も行い、今年度の受賞者となった本間敬悦さん（館越）を表彰しました。



式では、北嶋さんをはじめ9名の方を表彰

将来のまちづくりを考える「コンパクトなまちづくり講習会」



講演を行う町住民生活課の松橋さん

※1 PLATEAU:2020年に始動した、国土交通省が主導する都市空間の3Dモデル化プロジェクト。コンピュータ上で災害や交通、土地開発に関するシミュレーションなどが可能となる。

10月29日、町民センターで、県建設部都市計画課主催の「コンパクトなまちづくり講習会」が開催されました。この講習会は、人口減少・高齢社会において持続的で魅力あるまちづくりを推進するために、毎年実施されています。

当日は、町住民生活課の松橋良樹さんによる「五城目町における令和5年7月の水害と今後の課題」と題した講演のほか、国土交通省と県の職員による「立地適正化計画」や「PLATEAU（3D都市モデル）※1」についての講演が行われました。

創立150周年記念の想いを込めて 五城目小学校で学習発表会

10月26日、五城目小学校で学習発表会が開催されました。今年のテーマは「Key Kきらめく eえがお yやさしい五小っ子 新たな五小、今ひらく時」でした。

今年度に創立150周年を迎えた五城目小学校。6年生の発表「KISEKI」では、かつて町内にあった統合前の小学校が登場し、150年の歴史を振り返りました。各学年の発表後には、創立150周年を祝う記念ソング「すすめ！未来へ」の全校合唱が披露されました。



6年生の発表「KISEKI」



校内には記念ソングの題と歌詞が展示

秋の味覚を堪能！「きのこまつり」



旬のきのこを買い求め多くの方が来場



「なめこ汁コーナー」の様子

10月27日、秋の朝市「きのこまつり」を開催しました。

朝市通りでは、ナメコやマイタケなど旬のきのこが並んだほか、イベント広場では、だまこ鍋や味噌たんぽ、なめこ汁などが振舞われ、会場は多くの来場者でにぎわいました。